

2025年2月期決算及び 2026年2月期業績予想について

このプレゼンテーション資料には将来の見通しが含まれています。これらの見通しや意見は、社内資料やその他の信頼するに足りると思われる資料をもとに作成していますが、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の売上高や利益等は、ここに記載されている内容と異なる場合があることをご承知おきください。

久光製薬株式会社
2025年4月10日



要 旨

2025年2月期 決算

1. HX2025の取り組み
2. 中長期的企業価値向上に向けて
3. 連結損益
4. 地域別売上高
5. 商品別売上高
6. 研究開発パイプライン
7. 資本政策について

2026年2月期 業績予想

8. 連結損益 – 業績予想 –
9. 地域別売上高 – 業績予想 –
10. 商品別売上高 – 業績予想 –



1. HX2025の取り組み(1)



第7期中期経営方針

～HX2025 (Hisamitsu Transformation 2025)～

2021年9月17日(金)

代表取締役社長

中富 一榮

久光製薬ホームページ 中期経営方針

<https://www.hisamitsu.co.jp/ir/medium term.html>





1. HX2025の取り組み(2)

		(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	目標
	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	
売上高	1,145億円	1,201億円	1,283億円 (CAGR 5.9%)	1,417億円 (CAGR 7.4%)	1,560億円 (CAGR 8.0%)	CAGR5.0%以上
海外売上高比率 (海外売上高)	34.4% (393億円)	34.5% (414億円)	41.8% (536億円)	42.8% (606億円)	47.2% (736億円)	50.0%以上
ROE	3.7%	3.8%	4.7%	5.4%	8.0%	8.0%以上
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 200万株の自己株式取得 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 10期連続増配 ✓ 200万株の自己株式取得 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 11期連続増配 ✓ 200万株の自己株式取得 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12期連続増配 ✓ 240万株の自己株式取得(ToSTNeT-3) 	
成長投資		<ul style="list-style-type: none"> ✓ ガイアバイオメディシンへの出資 ✓ ラクオリア創薬ライセンス契約 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AYM HD株式会社の株式取得 ✓ 新研究所の建設及び研究拠点の再編 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ エスカップ、ラルトブランド関連資産等の一部譲受 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 再生医療・細胞医療開発バイオベンチャーリエイルへの出資 	成長投資 1,500億円



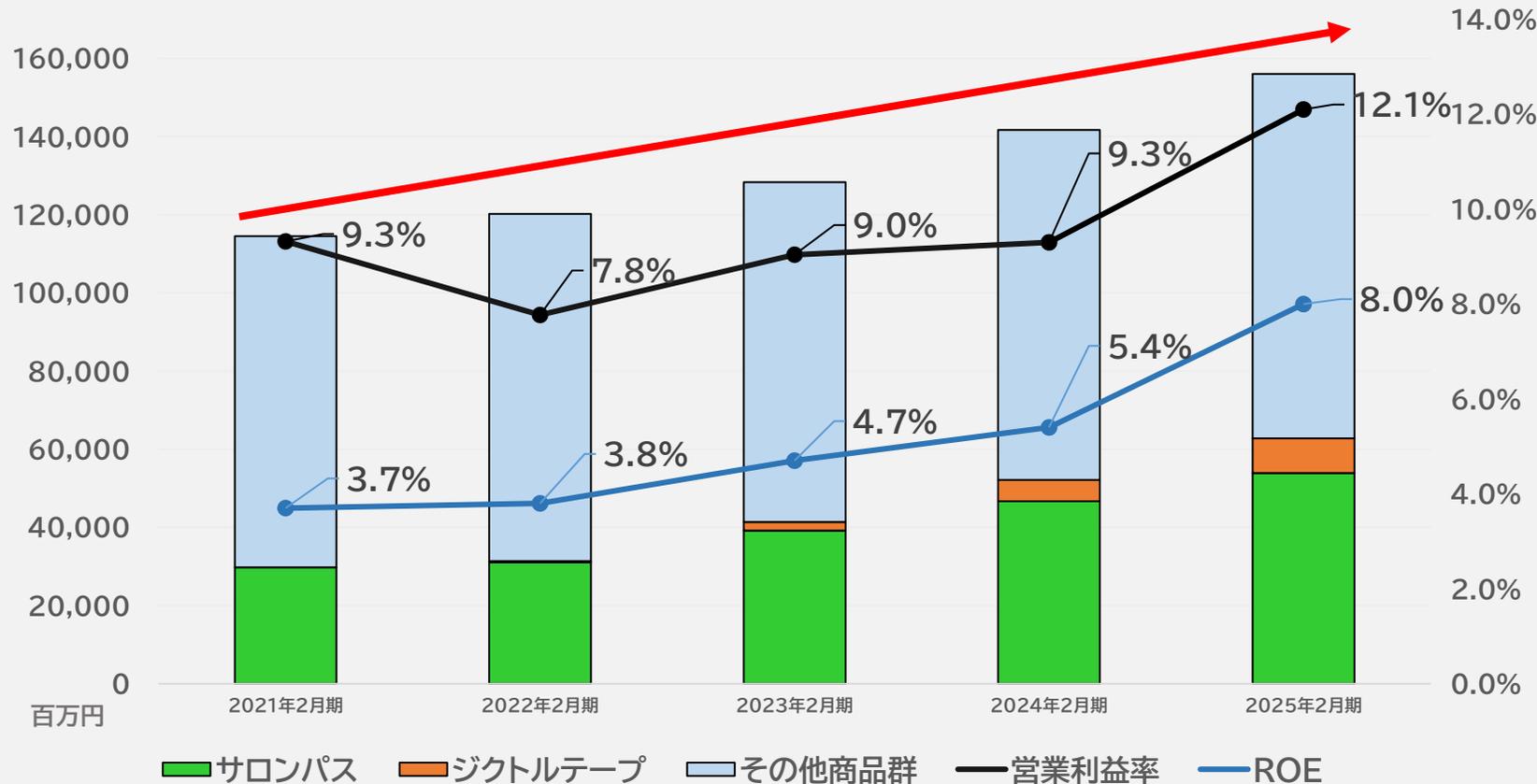
2. 中長期的企業価値向上に向けて

売上・利益の成長ドライバー グローバル「サロンパス®」「ジクトル®テープ」



グローバル「サロンパス®」「ジクトル®テープ」の売上拡大により売上・利益共に成長
成長投資を加速し、持続的成長を図る

売上高(グローバル「サロンパス®」「ジクトル®テープ」)、営業利益率、ROE推移



持続的成長に向けて

■ グローバル「サロンパス®」

- ・ 市場の大きい米国を中心に更に拡販、販売国の拡大
- ・ 生産能力向上

■ 「ジクトル®テープ」

- ・ 日本:売上100億円の早期達成 (出荷ベース)
- ・ 米国、その他地域への展開加速
米国第Ⅲ相臨床試験
2026年度中開始予定



2. 中長期的企業価値向上に向けて

キャッシュアロケーションに関する基本方針（2027年2月期～2031年2月期）

営業CF及び金融資産の活用により、成長投資2,000億円、株主還元500億円以上を実施
さらなる企業価値・株主価値向上のため、事業成長の加速と共に資本収益性の向上を図る

キャッシュイン※1

営業CF
+
金融資産

2,500億円以上※2

キャッシュアウト

事業成長の加速に向けた成長投資に優先配分、株主還元を大幅に強化

成長投資	設備投資 500億円以上	「サロンパス®」グローバル成長加速、TDDS新技術への対応 ・グローバル安定供給生産体制の構築 ・マイクロニードル製剤量産化 等
	研究開発投資 800億円以上	パイプラインの拡充 ・HP-3150US、HP-6050 開発進展 ・初期開発パイプラインへの積極投資
	戦略投資 700億円以上	持続的成長の実現 ・後期開発パイプラインの導入、OTCブランド獲得 ・M&Aによる新規事業の拡大
	株主還元 500億円以上	安定的に拡大してきた株主還元を大幅に強化 ・配当(5年間)約450億円 ・自己株式取得の機動的実施

現状の株主資本を維持

※1 政策保有株式の売却で得るキャッシュを含み、かつ状況に応じて有利子負債の活用も検討

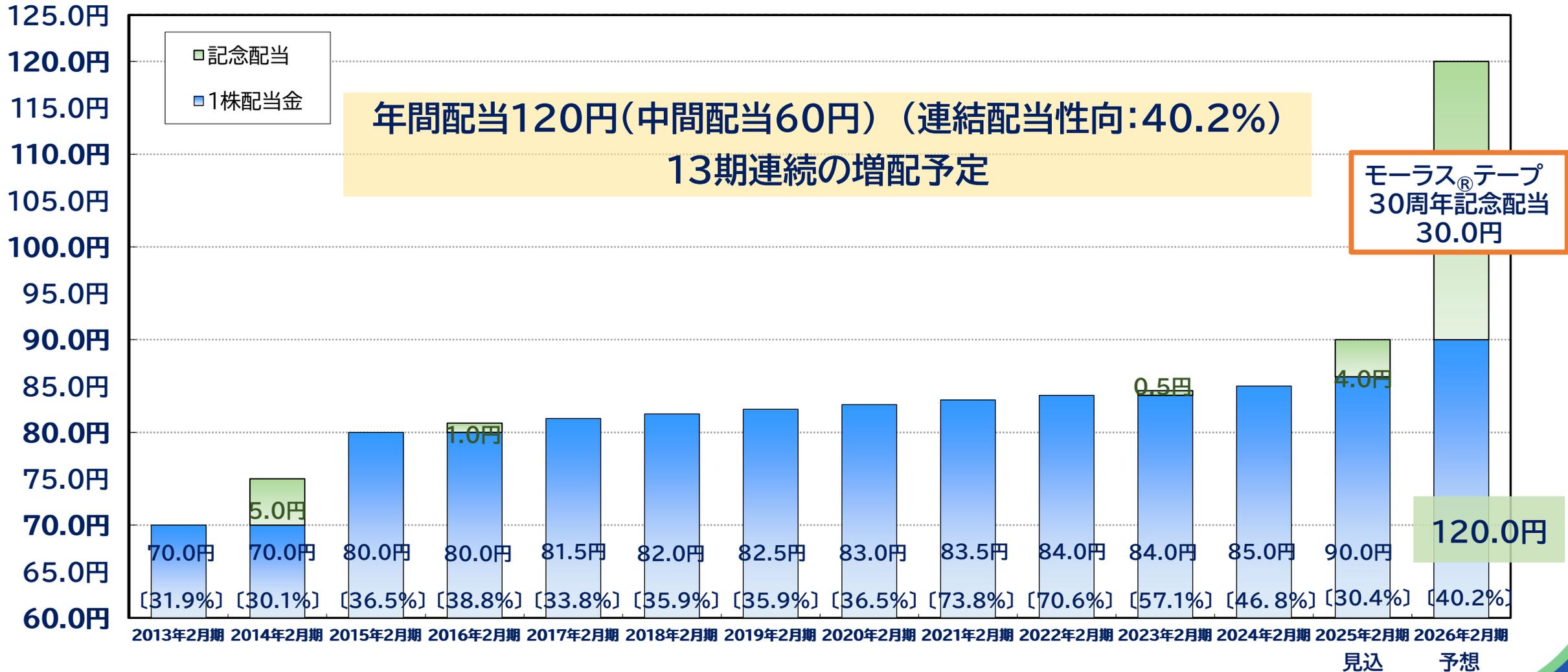
※2 研究開発費控除前



2. 中長期的企業価値向上に向けて

配当予想(モーラス®テープ 30周年記念配当)

モーラス®テープ発売 30周年 : 記念配当 30円





2. 中長期的企業価値向上に向けて

モーラス[®]テープ30年 育薬(改良)の軌跡

1995年12月
発売

2025年12月
発売 30年

効能・効果の追加

1995年12月
腰痛症等
(国内で初めての適応)

2009年11月
関節リウマチにおける
関節局所の鎮痛(効能追加)

2011年2月
筋肉痛、外傷後の腫脹・
疼痛(効能追加)

ユーザビリティ向上

フィルムの改良



薬袋の改良



包装箱の改良



サステナビリティ

環境へ配慮した
改良

- ・包装のコンパクト化
- ・リサイクルPETの使用
- ・バイオマスインキの使用





「サロンパス®」発売90周年記念「ハイタッチプロジェクト」 SAGAスポーツピラミッド構想へ寄付

事業戦略上の重要な拠点・佐賀県への地域貢献の取り組み

ハイタッチプロジェクト

～ハイタッチの数だけ、佐賀の未来に手当てのチカラ～

概要 「ハイタッチ」=「手当て」の象徴として、「サロンパス®」のサンプリングイベント等と連動、参加者のハイタッチの数に応じて寄付金を「SAGAスポーツピラミッド構想(SSP)」*に贈呈

期間 2024年4月～2025年2月

寄付金額 1,015,605円／ハイタッチ数:112,845名×9円



*:世界に挑戦する佐賀ゆかりのトップアスリートの育成を通じてスポーツ文化(する、観る、支える、育てる、稼ぐ)の裾野を拡大し、さらなるトップアスリートの育成につながる好循環を確立することで、スポーツのチカラを活かした人づくり、地域づくりを進めるプロジェクトです。

寄付目録贈呈

2025年4月4日 佐賀県県庁にて



左より 佐賀県知事 山口 祥義
久光製薬株式会社 代表取締役社長 中富 一榮

リリース:
https://www.hisamitsu.co.jp/company/pdf/news_release_250407.pdf





3. 連結損益 | 対前期実績

単位:百万円

	2024年2月期 実績	2025年2月期 実績	増減額	増減率
売上高	141,706	156,006	+14,300	+10.1%
売上原価	62,735	64,810	+2,074	+3.3%
原価率	44.3%	41.5%		
販管費	65,803	72,300	+6,496	+9.9%
販売促進費	12,887	15,371	+2,484	+19.3%
広告費	15,327	14,582	-744	-4.9%
研究費	8,614	10,903	+2,289	+26.6%
その他	28,973	31,442	+2,468	+8.5%
営業利益	13,167	18,895	+5,728	+43.5%
経常利益	19,649	24,010	+4,361	+22.2%
親会社株主に帰属 する純利益	13,969	21,758	+7,788	+55.8%
為替レート(¥/USD)	141.20	152.24		

2025年2月期決算概要

4期連続の増収増益

- 売上高(+14,300)
 - ・サロンパス®を中心に海外売上高増加
 - ・ジクトル®テープ売上高増加、新商品売上高の寄与
- 売上原価(+2,074)、原価率(-2.8ポイント)
 - ・継続的な原価低減活動、売上構成の変化、返品削減の取り組み、円安の影響
- 販管費(+6,496)
 - ・販売促進費: ノーベン社(米国)におけるXELSTRYM®販促費用
 - ・広告費: ブランド価値向上のための積極投資・効率的活用
 - ・研究費: 初期フェーズパイプライン関連費用、SAGAグローバルリサーチセンター減価償却費
 - ・その他: 物流費、減価償却費、人件費(賃上げ)
- 経常利益(+4,361)
【当期】為替差損 【前期】為替差益
- 親会社株主に帰属する純利益(+7,788)
投資有価証券売却益





4. 地域別売上高 | 対前期実績

単位:百万円

		2024年2月期 実績	2025年2月期 実績	増減額	増減率
売上高		141,706	156,006	+14,300	+10.1%
医療用医薬品	日本	54,437	52,382	-2,055	-3.8%
	海外	17,545	23,016	+5,470	+31.2%
	米国	11,530	16,605	+5,074	+44.0%
	その他地域	6,015	6,410	+395	+6.6%
一般用医薬品 ・ その他	日本	23,337	26,629	+3,291	+14.1%
	海外	43,133	50,625	+7,491	+17.4%
	米国	19,506	22,289	+2,783	+14.3%
	その他地域	23,627	28,335	+4,708	+19.9%
その他事業	日本	3,251	3,352	+101	+3.1%
海外売上比率		42.8%	47.2%		

地域別売上高の状況

■売上高(+14,300)

<医療用医薬品 日本(-2,055)>

- ・ジクトル[®]テープの売上増加
- ・薬価改定、選定療養の影響

<医療用医薬品 海外(+5,470)>

- ・女性ホルモン製剤の売上増加

<一般用医薬品 日本(+3,291)>

- ・サロンパス[®]の売上増加

<一般用医薬品 海外(+7,491)>

- ・サロンパス[®]の売上増加

海外売上高比率 47.2%(+4.4ポイント)



5. 商品別売上高 | 医療用医薬品/対前期実績

単位:百万円

	2025年2月期 実績			2025年2月期の 対前年増減額			2025年2月期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
医療用医薬品計	75,399	52,382	23,016	+3,415	-2,055	+5,470	+4.7%	-3.8%	+31.2%
モーラス [®] テープ群	20,820	19,751	1,068	-4,698	-4,521	-176	-18.4%	-18.6%	-14.2%
ジクトル [®] テープ	8,870	8,870	-	+3,426	+3,426	-	+63.0%	+63.0%	-
ハルロピ [®] テープ	4,010	4,010	-	+523	+523	-	+15.0%	+15.0%	-
モーラス [®] パップ群	3,046	3,046	-	-535	-535	-	-14.9%	-14.9%	-
フェントス [®] テープ	3,269	3,269	-	-197	-197	-	-5.7%	-5.7%	-
アポハイド [®] ローション	1,393	1,393	-	+409	+409	-	+41.6%	+41.6%	-
エストラーナ [®] テープ	1,960	1,960	-	-49	-49	-	-2.5%	-2.5%	-
その他	9,603	8,949	653	-727	-615	-112	-7.0%	-6.4%	-14.7%
Combipatch [®] 群	8,391	1,128	7,262	+961	-495	+1,456	+12.9%	-30.5%	+25.1%
Vivelle-Dot [®] 群	7,587	-	7,587	+1,938	-	+1,938	+34.3%	-	+34.3%
Minivelle [®] 群	3,379	-	3,379	+788	-	+788	+30.4%	-	+30.4%
Xelstry [®]	616	-	616	+552	-	+552	+859.0%	-	+859.0%
Secuado [®]	1,041	-	1,041	+301	-	+301	+40.6%	-	+40.6%
Daytrana [®] 群	1,401	-	1,401	+716	-	+716	+104.7%	-	+104.7%

<日本>

ジクトル[®]テープ



全身性経皮吸収型製剤の認知拡大

モーラス[®]テープ群



薬価改定、選定療養影響

<海外>

Combipatch[®]群
Vivelle-Dot[®]群



女性ホルモン製剤(経皮吸収型製剤)
市場の拡大

Xelstry[®]



Co-Payカード使用の適正化

Daytrana[®]群



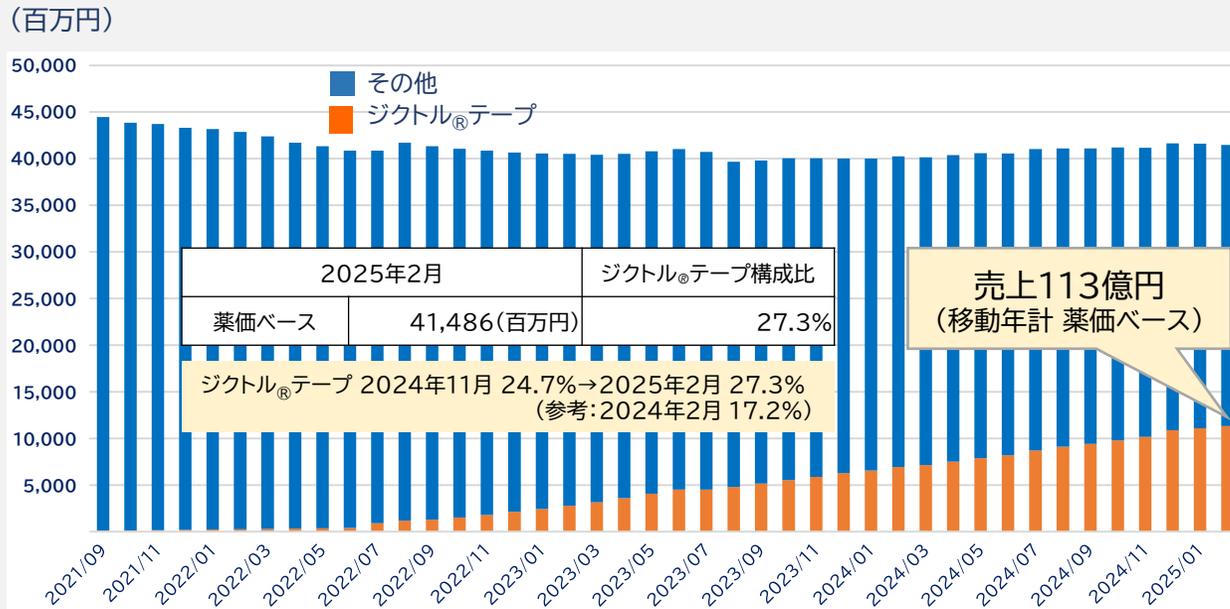
AG製剤の売上増加



販売状況 * 早期に売上100億円超(出荷ベース)を目指す
* 日本→米国→その他地域へ展開を進める

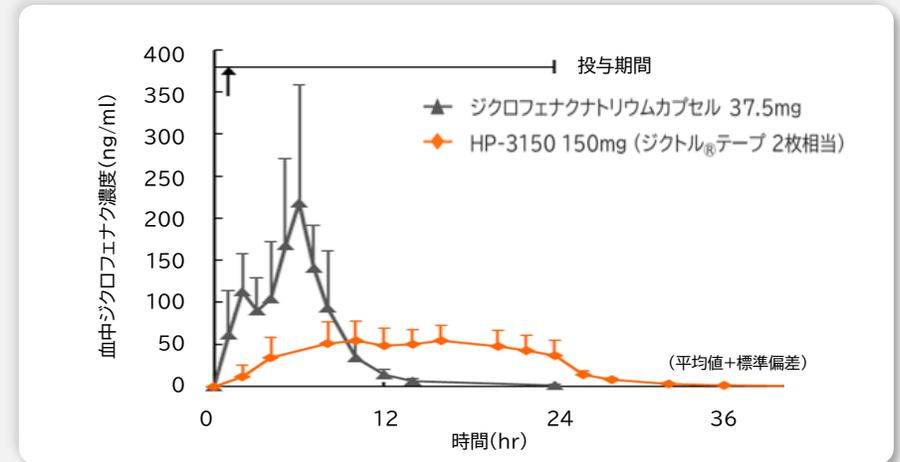
- 2025年2月期 売上高 8,870百万円(対前期+63.0%)
- 2025年2月市場シェア 27.3%(対前期+10.1ポイント(移動年計))
- 「全身性経皮吸収型製剤」の特長を学会、講演会等を通じ情報提供

市場動向/金額ベース 非ステロイド性抗炎症剤、抗リウマチ剤※ (全身性製剤)



■ 安定した血漿中薬物濃度を維持し、痛みを持続的に抑える

【血中濃度】血漿中ジクロフェナク濃度推移



※社内データ



原発性手掌多汗症

- ・ 手掌から両側性に過剰な発汗を認める疾患。社交活動(握手など)やペーパーワーク、電子機器の操作等に多大なる支障をきたすため、学校生活や社会生活上の様々な場面で生活の質や労働能率を低下させる大きな要因となることが知られている※1
- ・ 推定患者数(日本)：約493万人※2

販売状況

- ・ 2025年2月期 売上高：1,393百万円
* 2023年6月発売
- ・ 2025年2月までに累積約19万人に投与

疾患啓発動画第62回JAA広告賞
「消費者が選んだ広告コンクールフィルム広告部門(中編の部)メダリスト」受賞



■ 原発性手掌多汗症疾患啓発動画

タイトル : 「病院に行けた日」篇

動画掲載URL : <https://www.hisamitsu.co.jp/tenose/cm/>



※1 日本皮膚科学会ガイドライン:原発性局所多汗症診療ガイドライン 2023 年改訂版

※2 Fujimoto T, et al.: J Dermatol 2013; 40(11): 886-90

※3 IQVIA Rx(2023/06-2025/02)より自社集計 Copyright © 2025 IQVIA. 無断転載禁止

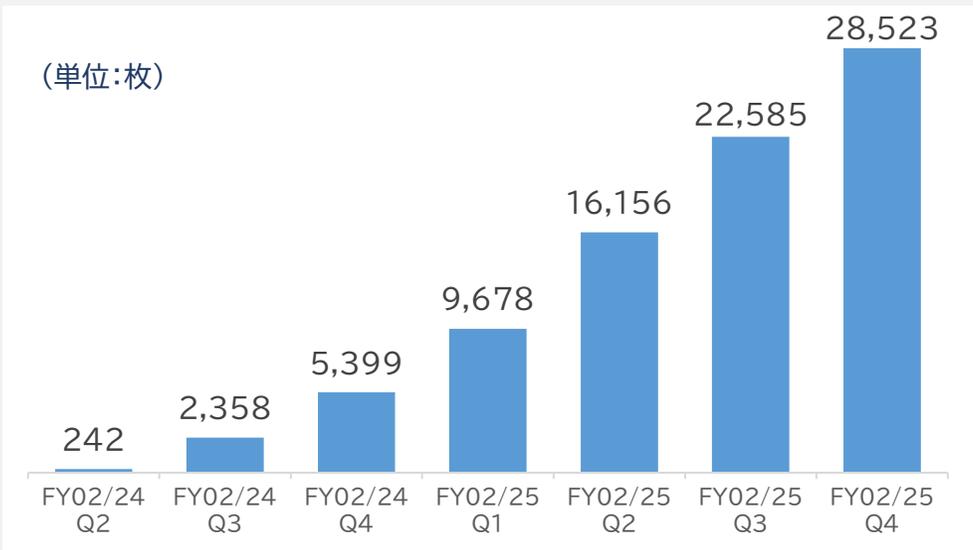


販売状況 *米国ADHD市場規模:約100億ドル

- ・ 2025年2月期 売上高 616百万円 *2023年6月発売
- ・ Co-Payカード使用の適正化(2024年7月~)

処方箋動向

<累計処方箋枚数推移※>



<貼付剤の強み>

- ・ 医師の指導の下、症状に合わせて貼付時間を調整できる
- ・ 経口投与が困難な患者(成人・小児)にも投薬しやすい
- ・ 服薬状況を家族および介護者が目視で確認可能

上記特長を学会等を通じて情報提供、認知度向上を図る

※Source: This information is an estimate derived from the use of information under license from the following IQVIA information service: NPA, Total Patient Tracker[™] for the period from 2023 to 2024. IQVIA expressly reserves all rights, including rights of copying, distribution and republication.



5. 商品別売上高 | 一般用医薬品・その他/対前期実績

単位:百万円

	2025年2月期 第4四半期実績			2025年2月期第4四半期の 対前年増減額			2025年2月期第4四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
一般用医薬品・その他 計	77,255	26,629	50,625	+10,783	+3,291	+7,491	+16.2%	+14.1%	+17.4%
サロンパス®群	53,917	10,325	43,591	+7,220	+770	+6,450	+15.5%	+8.1%	+17.4%
フェイタス®群	4,461	4,175	285	+606	+384	+221	+15.7%	+10.2%	+346.1%
バイバイフィーバー®群	4,038	44	3,993	+328	-261	+589	+8.8%	-85.3%	+17.3%
エスカップ®群	2,146	2,146	-	+685	+685	-	+46.9%	+46.9%	-
アレグラ®FX	4,059	4,059	-	-142	-142	-	-3.4%	-3.4%	-
サロンシップ®群	2,971	1,499	1,471	+177	+1	+176	+6.4%	+0.1%	+13.6%
エアー®サロンパス®群	1,838	783	1,054	+97	-15	+112	+5.6%	-2.0%	+12.0%
ブテナロック®群	874	867	6	+47	+50	-2	+5.8%	+6.2%	-26.0%
その他*	2,948	2,727	220	+1,761	+1,818	-57	+148.5%	+200.2%	-20.6%

*会計基準による返金負債計上額を含む

<日本>		<海外>	
サロンパス®群	↑ 積極的販促活動	サロンパス®群	↑ 積極的販促活動
エスカップ®群	↑ 2023年10月、エスエス製薬より譲受		

環境負荷軽減とコスト削減を目的に小売店、卸と返品削減を推進しています。



海外一般用医薬品・その他 2025年2月期 新商品

発売月	カテゴリー	地域	アイテム数	
2024年3月 ～ 2025年2月	一般用医薬品	アジア	4	
		アフリカ	3	
	その他*	アジア	1	
		南米	1	
	一般用医薬品 計			7
	その他* 計			2
合計			9	

*その他: 医療機器・医薬部外品 等





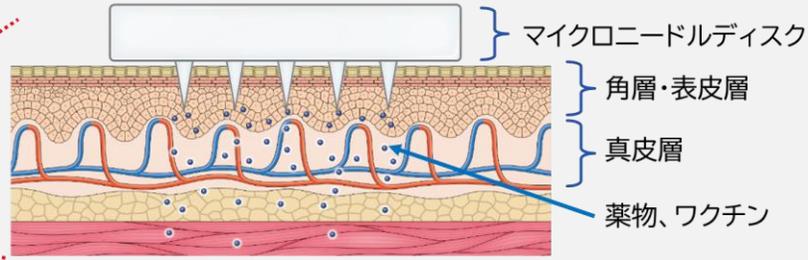
6. 研究開発パイプライン

	ステージ	テーマ名	対象	剤形	対象疾患名	次のステップ
1	承認	HARUROPI [®] PATCH (ハルロピ [®] テープ)	亜	貼付剤	パーキンソン病	2025年度 発売予定
2	フェーズ3準備中	HP-3150US	米	貼付剤	慢性腰痛症	2026年度 フェーズ3開始予定
3	フェーズ3準備中	HP-6050	日	マイクロ ニードル	せん妄、精神運動興奮状態、 易怒性	2025年度 フェーズ3 開始予定

※黄色箇所：2025年1月9日の説明スライドからの変更箇所



「マイクロニードル製剤」



皮膚断面およびマイクロニードル適用時のイメージ

- 長さ数百マイクロメートルの微小突起物が配列した基板からなる
- 角質層を貫通させることが可能
- 無痛かつ出血をとみなわない薬物投与を可能

HalDisc[®] Technology



HalDisc[®] Technology
デバイス外観

マイクロニードルとアプリケータが
一体となった使いやすいデバイス

HP-6050(経皮吸収型 鎮静剤) 開発着手の背景

興奮状態を呈する患者の治療には、安全のために
複数の医療従事者で患者を拘束せざるを得ない状況

- 国内せん妄患者(意識の混乱、入院患者の10~30%)※
- 身体拘束行為を行うことがある病棟・施設の割合は85%※

※参考:公益社団法人 全日本病院協会
身体拘束ゼロの実践に伴う課題に関する調査
研究事業(2016.3)

医療従事者と患者の双方に負担



簡便な投与が可能なHalDisc[®] Technologyは、
上記負担軽減に貢献できると考え、HP-6050開発に着手

- 興奮状態患者に対応する医療従事者の負担低減
(人数低減、針刺し事故の防止)
- 患者の精神的・身体的ストレスの緩和
(身体拘束をなくす)



当社が注力する整形外科領域とのシナジーが強いORPHE社の事業に出資することで、デジタル分野における先進的な知見やテクノロジーを取り入れ、ヘルスケア商品・サービスのビジネス基盤を強化する。

ORPHEについて



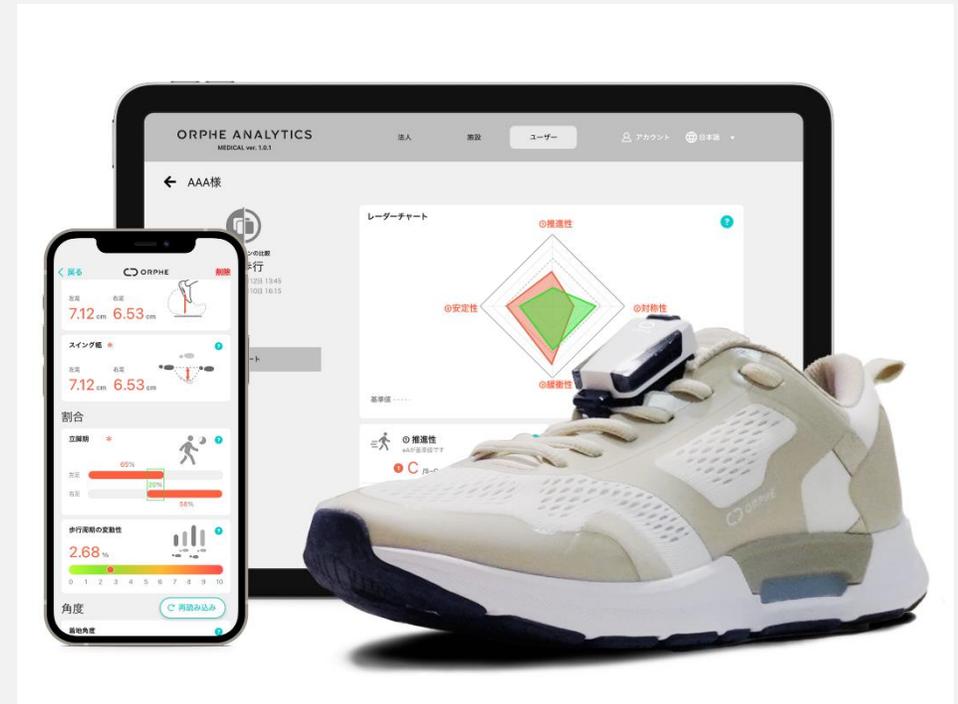
会社名：
株式会社ORPHE(オルフェ)

■事業内容

医療、ヘルスケア向け歩行分析DX事業*・IoT製品の研究開発および販売

*歩行分析DX事業について

足の動きをデータ化するセンシングソリューションを開発。これによりさまざまな側面から歩行を計測することができ、高精度な歩行分析の定量化が可能。遠隔で歩行分析やリハビリを行うことで治療の最適化や通院の負担軽減を目指す。



リリース

https://www.hisamitsu.co.jp/company/pdf/news_release_250327.pdf



7. 資本政策について

政策保有株式の連結純資産比率について

**2025年2月末
連結純資産比18.5%**

創出したキャッシュ
今後の成長投資の原資とする計画



【参考】 日経平均株価	2022年2月末	2023年2月末	2024年2月末	2025年2月末
	26,526.82円	27,445.56円	39,166.19円	37,155.50円

政策保有株についての考え方

【参考】 日経平均株価

- 毎年5月の取締役会において、銘柄ごとに取引の状況等による定性的検証及び取引に伴う便益や配当等による経済合理性等による定量的検証結果を総合的に勘案したうえで、保有の合理性を検証。
- 検証結果に基づき、保有の合理性がないと判断した銘柄については、投資先企業と対話を行い、縮減を検討。

2026年2月期 業績予想



8. 連結損益 | 業績予想

単位:百万円

	2025年2月期 実績	2026年2月期 通期業績予想	増減額	増減率
売上高	156,006	165,000	+8,994	+5.8%
売上原価	64,810	68,000	+3,190	+4.9%
原価率	41.5%	41.2%		
販管費	72,300	77,000	+4,700	+6.5%
販売促進費	15,371	14,400	-971	-6.3%
広告費	14,582	15,000	+418	+2.9%
研究費	10,903	13,200	+2,297	+21.1%
その他	31,442	34,400	+2,958	+9.4%
営業利益	18,895	20,000	+1,105	+5.8%
経常利益	24,010	24,300	+290	+1.2%
親会社株主に帰属 する純利益	21,758	22,000	+242	+1.1%
為替レート(¥/USD)	152.24	148.00		
研究費控除前営業利益	29,798	33,200	3,402	+11.4%

2026年2月期業績予想概要

5期連続の増収増益見込み

- 売上高(+8,994)
 - ・サロンパス[®]、女性ホルモン製剤を中心に海外売上高増加
 - ・ジクトル[®]テープ売上高増加、新商品売上高の寄与
- 売上原価(+3,190)、原価率(-0.3ポイント)
 - ・継続的な原価低減活動、売上構成の変化
 - 返品削減の取り組み
- 販管費(+4,700)
 - ・販売促進費: ノーベン社(米国)におけるXELSTRYM[®]販促費用の効率化
 - ・広告費 : ブランド価値向上のための積極投資
 - ・研究費 : HP-6050 PⅢ
 - ・その他 : 物流費、減価償却費、人件費(賃上げ)



9. 地域別売上高 | 業績予想

単位:百万円

		2025年2月期 実績	2026年2月期 通期業績予想	増減額	増減率
売上高		156,006	165,000	+8,994	+5.8%
医療用医薬品	日本	52,382	50,600	-1,782	-3.4%
	海外	23,016	25,300	+2,284	+9.9%
	米国	16,605	17,700	+1,095	+6.6%
	その他地域	6,410	7,600	+1,190	+18.6%
一般用医薬品 ・ その他	日本	26,629	30,300	+3,671	+13.8%
	海外	50,625	55,200	+4,575	+9.0%
	米国	22,289	24,400	+2,111	+9.5%
	その他地域	28,335	30,800	+2,465	+8.7%
その他事業	日本	3,352	3,600	+248	+7.4%
海外売上比率		47.2%	48.8%		

地域別売上高予想

■売上高(+8,994)

<医療用医薬品 日本(-1,782)>
・薬価改定、選定療養の影響

<医療用医薬品 海外(+2,284)>
・女性ホルモン製剤の売上増加

<一般用医薬品 日本(+3,671)>
・サロンパス®売上増加

<一般用医薬品 海外(+4,575)>
・サロンパス®売上増加

海外売上高比率 48.8%(+1.6ポイント)



10. 商品別売上高(1)

医療用医薬品/業績予想

単位:百万円

	2026年2月期 通期業績予想			2026年2月期の 対前年増減額			2026年2月期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
医療用医薬品計	75,900	50,600	25,300	+501	-1,782	+2,284	+0.7%	-3.4%	+9.9%
モーラス [®] テープ群	17,900	16,600	1,300	-2,920	-3,151	+232	-14.0%	-16.0%	+21.7%
ジクトル [®] テープ	11,200	11,200	-	+2,330	+2,330	-	+26.3%	+26.3%	-
ハルロピ [®] テープ	3,800	3,800	-	-210	-210	-	-5.2%	-5.2%	-
フェントス [®] テープ	2,900	2,900	-	-369	-369	-	-11.3%	-11.3%	-
モーラス [®] パップ群	2,600	2,600	-	-446	-446	-	-14.6%	-14.6%	-
エストラーナ [®] テープ	1,900	1,900	-	-60	-60	-	-3.1%	-3.1%	-
アポハイド [®] ローション	1,800	1,800	-	+407	+407	-	+29.2%	+29.2%	-
その他	9,800	8,700	1,100	+197	-249	+447	+2.1%	-2.8%	+68.5%
Combipatch [®] 群	9,000	1,100	7,900	+609	-28	+638	+7.3%	-2.5%	8.8%
Vivelle-Dot [®] 群	8,700	-	8,700	+1,113	-	+1,113	+14.7%	-	+14.7%
Minivelle [®] 群	3,500	-	3,500	+121	-	+121	+3.6%	-	+3.6%
Secuado [®]	1,100	-	1,100	+59	-	+59	+5.7%	-	+5.7%
Xelstryl [®]	1,000	-	1,000	+384	-	+384	+62.3%	-	+62.3%
Daytrana [®] 群	700	-	700	-701	-	-701	-50.0%	-	-50.0%

<日本>

ジクトル[®]テープ ↑ 全身性経皮吸収型製剤の認知拡大
 モーラス[®]テープ群 ↓ 薬価改定、選定療養の影響

<海外>

Combipatch[®]群 ↑ 女性ホルモン製剤(経皮吸収型製剤)市場の拡大
 Vivell-Dot[®]群
 Xelstryl[®] ↑ Co-Payカード使用の適正化
 Daytrana[®]群 ↓ 原薬の割り当て承認遅れのため生産減



10. 商品別売上高(2)

一般用医薬品・その他/業績予想



単位:百万円

	2026年2月期 通期業績予想			2026年2月期の 対前年増減額			2026年2月期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
一般用医薬品・その他 計	85,500	30,300	55,200	+8,245	+3,671	+4,575	+10.7%	+13.8%	+9.0%
サロンパス®群	58,000	11,500	46,500	+4,083	+1,175	+2,909	+7.6%	+11.4%	+6.7%
フェイタス®群	5,800	4,800	1,000	+1,339	+625	+715	+30.0%	+15.0%	+250.9%
バイバイフィーバー®群	4,600	100	4,500	+562	+56	+507	+13.9%	+127.3%	+12.7%
アレグラ®FX	4,100	4,100	-	+41	+41	-	+1.0%	+1.0%	-
エスカップ®群	3,700	3,700	-	+1,554	+1,554	-	+72.4%	+72.4%	-
サロンシップ®群	3,300	1,700	1,600	+329	+201	+129	+11.1%	+13.4%	+8.8%
エアー®サロンパス®群	2,200	900	1,300	+362	+117	+246	+19.7%	+14.9%	+23.3%
ブテナロック®群	1,000	1,000	-	+126	+133	-	+14.4%	+15.3%	-
その他*	2,800	2,500	300	-148	-227	+80	-5.0%	-8.3%	+36.4%

*会計基準による返金負債計上額を含む

<日本>		<海外>	
サロンパス®群	↑ 広告の継続展開、店頭活動の強化	サロンパス®群	↑ 新CM等広告の積極展開、店頭活動の強化
エスカップ®群	↑ 物流体制整備	フェイタス®群	↑ 展開エリア拡大

Hisamitsu®

「手当て」の文化を、世界へ。

Promoting "TE-A-TE" Culture Worldwide

